

## 10 行列の階数と線形独立性

演習 10.1 次を示せ:

$$(1) \operatorname{rank} \begin{pmatrix} A & O \\ O & B \end{pmatrix} = \operatorname{rank} A + \operatorname{rank} B$$

$$(2) \operatorname{rank} \begin{pmatrix} A & C \\ O & B \end{pmatrix} \geq \operatorname{rank} A + \operatorname{rank} B$$

演習 10.2 (1)  $\mathbf{x} = \begin{pmatrix} x_1 \\ \vdots \\ x_m \end{pmatrix}$  を  $m$  項縦ベクトル,  $\mathbf{y} = \begin{pmatrix} y_1 \\ \vdots \\ y_n \end{pmatrix}$  を  $n$  項縦ベクトルと

すると,

$$A = \mathbf{x}^t \mathbf{y} = \begin{pmatrix} x_1 y_1 & \cdots & x_1 y_n \\ \vdots & \ddots & \vdots \\ x_m y_1 & \cdots & x_m y_n \end{pmatrix}$$

は  $m \times n$  行列である.  $\mathbf{x} \neq \mathbf{0}$ ,  $\mathbf{y} \neq \mathbf{0}$  のとき,  $\operatorname{rank} A = 1$  となることを示せ.

(2) 逆に,  $A$  をある  $m \times n$  行列とするとき, もし  $\operatorname{rank} A = 1$  ならば, ある  $m$  項縦ベクトル  $\mathbf{x}$  と  $n$  項縦ベクトル  $\mathbf{y}$  が存在して  $A = \mathbf{x}^t \mathbf{y}$  と書けることを示せ.

---

時間が余ったら, 次も考えてみてください.

演習 10.3 一般に,  $A$  を  $m \times n$  行列,  $\operatorname{rank} A = r$  とするとき, ある  $m \times r$  行列  $X$  と  $n \times r$  行列  $Y$  が存在して,  $A = X^t Y$  と書けることを示せ.